

鹿島槍ヶ岳東尾根 5/3,4 メンバー ; L 谷内、宮坂

予想より入山者少なく早めの行動を心掛けたおかげもあり三日間計画が二日で達成でき充実した雪稜山行が楽しめました。宮坂さんにとってはバリエーションルートからの鹿島槍初見参となり喜びもひとしおであったと思われます。

5/3 晴れ～午後一時小雨

AM5:30 茅野発 7時大谷原駐車。連休初日ということもあってか車 20 台くらいと少な目。県警の補導員の方に計画書を手渡し情報を伺うと雪は少な目で東尾根には 5 パーティーくらい入っていると。7:20 発。コゴミ、フキノトウを調達後 7:43 林道から尾根へ取りつく。雪なくカタクリの花をめでながらの一頑張りで 8:05 尾根上に至る。1400m 辺りより雪出はじめ歩きやすくなる。10:30 一ノ沢ノ頭。この先もろいナイフリッジが何か所も出てきていやらしい。11:30 二ノ沢ノ頭。随分早くに今日のテンバ予定地に着いてしまったわけであるが、この先テンバ適地に乏しいことと午後から雨の予報であったことより早めのテント設営とす。案の定 1 時過ぎから風強まり小雨ぱらつきだすが大きくずれはなく一安心。夕方の確認では二ノ沢ノ頭に 4 張、ちょい上部に 1 張、一ノ沢ノ頭に 4 張、一と二の間に 2 張と意外に少な目。そうはいつでもルート待ちの混雑に巻き込まれないよう明日の早立ちを心掛けて 6 時には就寝。

5/4 晴れ

AM2 時起床。満天の星空。冷え込みはそれ程ではなし。3:50 発。この先の急雪壁はステップ跡が適度にしまってくれており順調に高度がかせげ本日のトップで第一岩峰に到着することができる。出はじめの数mは久しぶりの岩登りのせいかやや微妙な感じで残置ハーケンにランニングをとりながら慎重に処理し、その後は雪の乏しいガリー左手ミックス帯を 3 ピッチで抜け上がる。その後右手の雪壁を忍の一字で登り切り尾根上に出たあと気持ちの良い雪稜をたどると

本コースの核心部たる第二岩峰に 6 : 10 到着。基部に幕営跡あり単独者がちょうど取りついているところである。後続もまだやってこずゆっくり休止後我々の番である。もろい階段状の岩稜から左手凹角に入る。チョックストーン状の所がポイントであるが重荷のせいかなのせいか左足が上げづらくちょっと苦しみハーハーゼーゼ となりながらなんとかのっこし終了点へ。その後は気持ちの良い雪壁～雪稜をへて 8 時待望の北峰頂上に着きしっかりと握手をかわす。振り返ると東尾根の来し方が見わたせヤッタネという感じ。反対側に目をやると勇壮な剣岳が姿をみせてくれ感激だが黒部側からの風強く長居できずそそくさと南峰にむけ下降開始。吊尾根鞍部で風を避け大休止後急雪壁を一登りで 8 : 50 南峰着。冷池山荘からの登山者がたくさん登ってきており赤岩尾根トラバースルートが使われていることを教えてもらう。ほとんど雪の消えた夏道どうしに 10 時冷池山荘着。二日目のテンバ予定地ではあったが時刻も早いし明日は天候くずれる予報でもあり今日中の下山とし 10 : 20 下山開始。トラバースルートは安定していてしっかりトレースあり。赤岩尾根上部から西沢に向け下降するも結構の傾斜でほとんどバックステップで降りざるをえずバテバテとなる。西沢本流に降り立つあたりで登ってくるパーティーに合い出合の雪渓が切れてないことを確認し一安心し滑り降り 12 : 45 出合着。あとは林道をテクテクと 13 : 45 大谷原帰着。